

## 【 保険など必要のない世の中を目指して 】

2015年12月10日

於：JBDAフォーラム

アニコムホールディングス株式会社 代表取締役社長

アニコム損害保険株式会社 代表取締役会長

小森 伸昭

(講演要旨)

保険は社会インフラとも呼ばれる。しかし、そのインフラが整っている国ほど、例えば、自動車保険が普及している国ほど事故率が高いことはあまり知られていない。保険会社の役割とは、事故に対し保険金を支払うことではなく、事故データから事故を未然に防ぐことなのではないか。

「保険は予防だ」という思いを抱き、日本に初めてのペット保険を誕生させた2000年。どうぶつ病院のカルテ管理システムを開発・普及させることでペット保険を浸透させてきたが、なぜペット保険だったのか。

国内に100年ぶりに誕生した損害保険会社として、東証一部上場を果たし、業界シェア62%を達成。保有保険契約件数56万件以上、そこから得られるどうぶつに関するビッグデータを生かし、病気を未然に防ぐための“知のワクチン”を飼い主に広めてきた。

確実に成長を続け、「保険は予防だ」という思いが確信へと変わった今年、クラシカルな保険と保険会社の概念を破壊し、新たな概念を生み出すべく、大きく舵を切る。生物種を超えた医療チーム（獣医師・医師・看護師・管理栄養士・他）によるかぞく健診をスタート、生活習慣病をなくし、保険が必要のない世の中を目指す。